

19年3月期 決算説明会

19年5月16日
(株)今仙電機製作所
東証1・名証1
証券コード 7266

www.imasen.co.jp

I. 19年3月期決算概要

百万円	前年同期実績 (18年3月期)	当期実績 (19年3月期)	増減率	
			増減額	増減率
売上高	117,339	118,579	1,240	1.1%
営業利益	3,281	3,740	459	14.0%
経常利益	3,400	3,691	291	8.5%
当期純利益	2,878	2,474	▲404	▲14.1%
1株当たり純利益	139.21円	118.98円	▲20.23円	▲14.5%

POINT

北米においては受注車種の販売低迷により減産しましたが、国内、中国などの生産増加により、増収増益となりました

ご参考

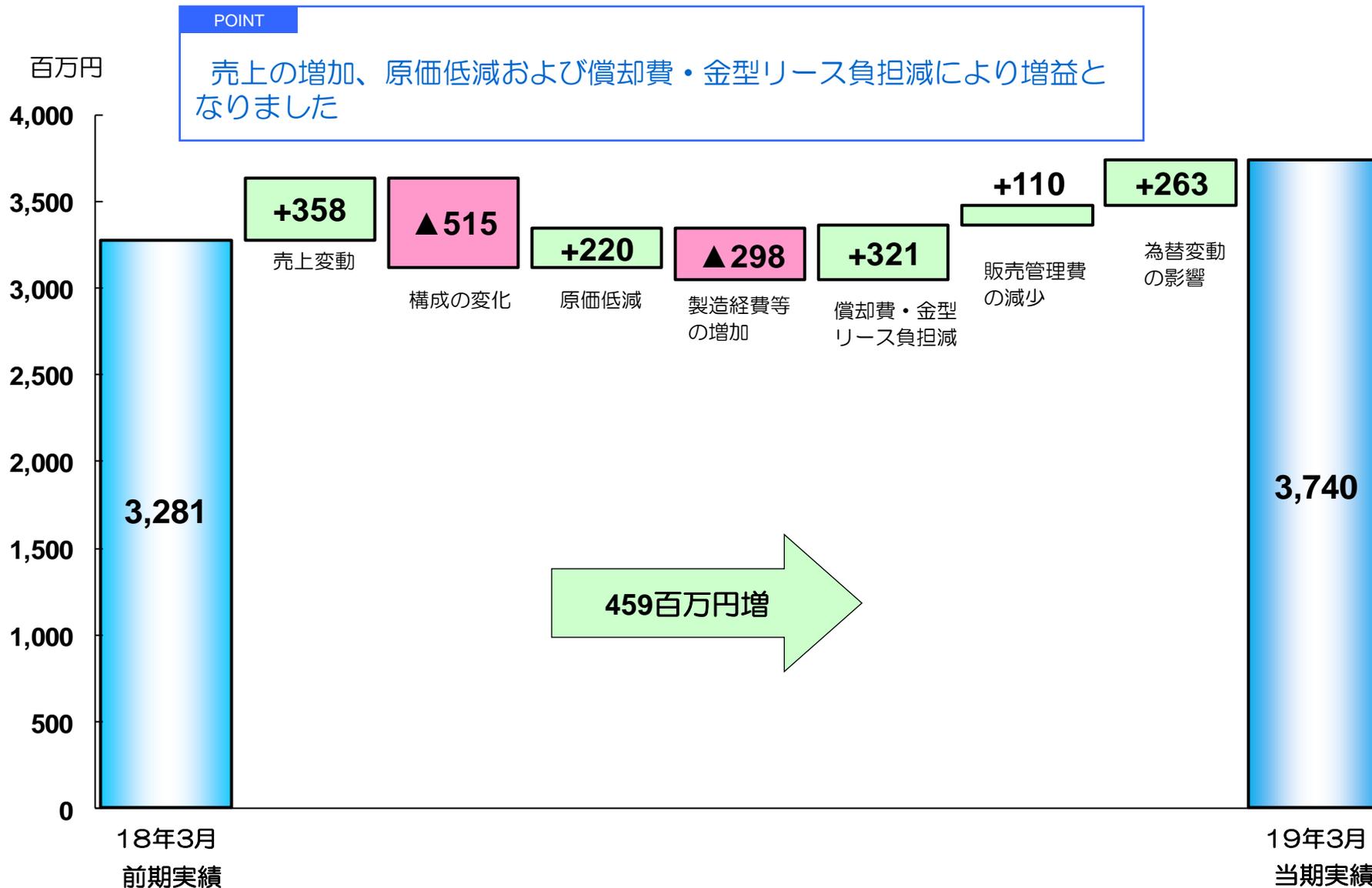
USD 19/3期	110.44円	18/3期	112.16円	1.72円の円高
CNY 19/3期	16.71円	18/3期	16.62円	0.09円の円安
THB 19/3期	3.42円	18/3期	3.31円	0.11円の円安

百万円	前期実績 (18年3月期)	当期実績 (19年3月期)	増減	
			増減額	増減率
総資産	86,107	84,151	▲1,956	▲2.3%
純資産	50,817	50,676	▲141	▲0.3%
自己資本比率	58.6%	59.8%	-	-
1株当たり 純資産	2,427.55円	2,421.26円	▲6.29円	▲0.3%

POINT

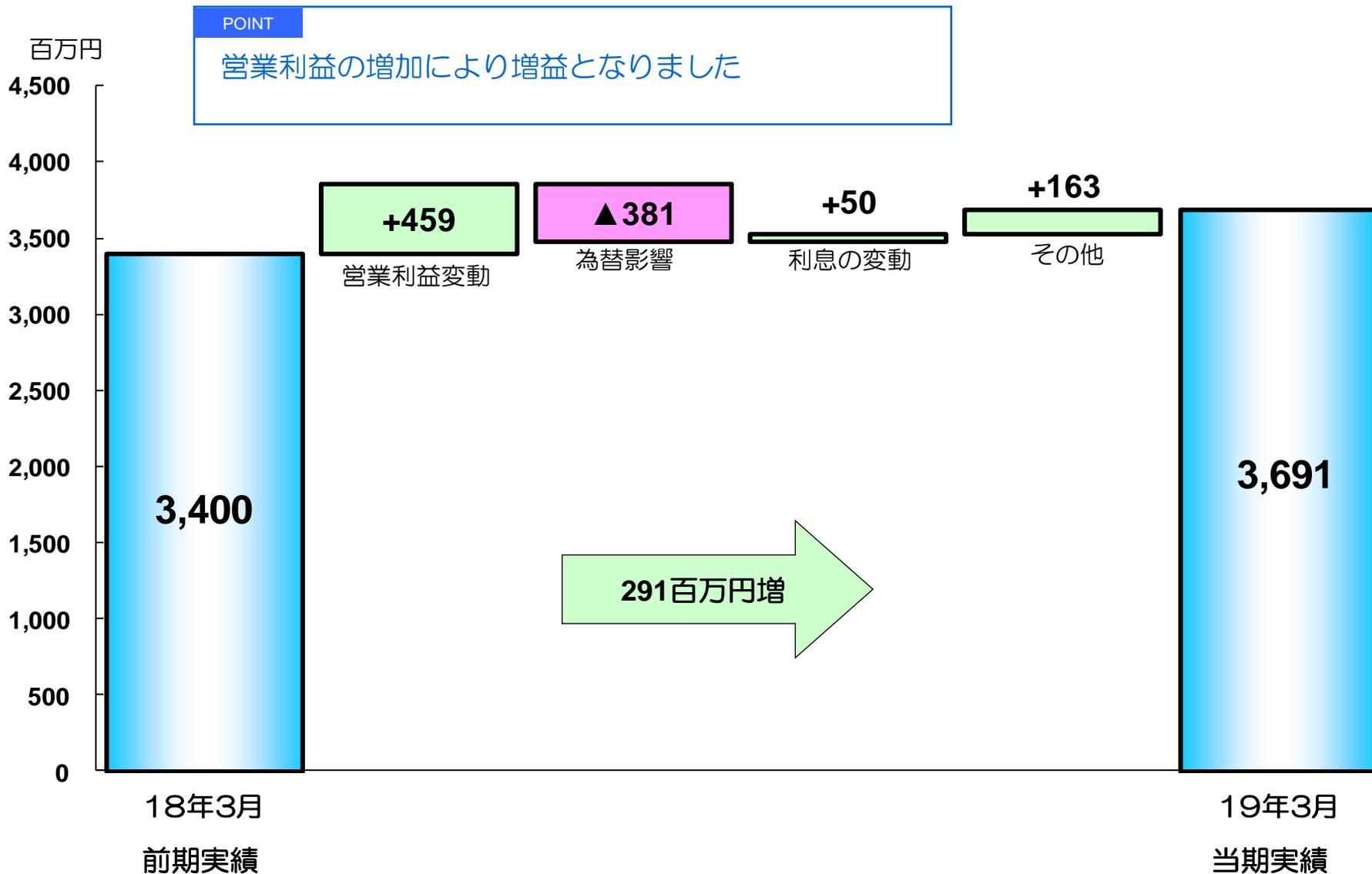
総資産は売掛債権の減少や固定資産の減少などにより、減少しております

4Q実績 前年同期比変動要因：営業利益



本資料の内容に関する一切の権利は(株)仙電機製作所に帰属しています。複製及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

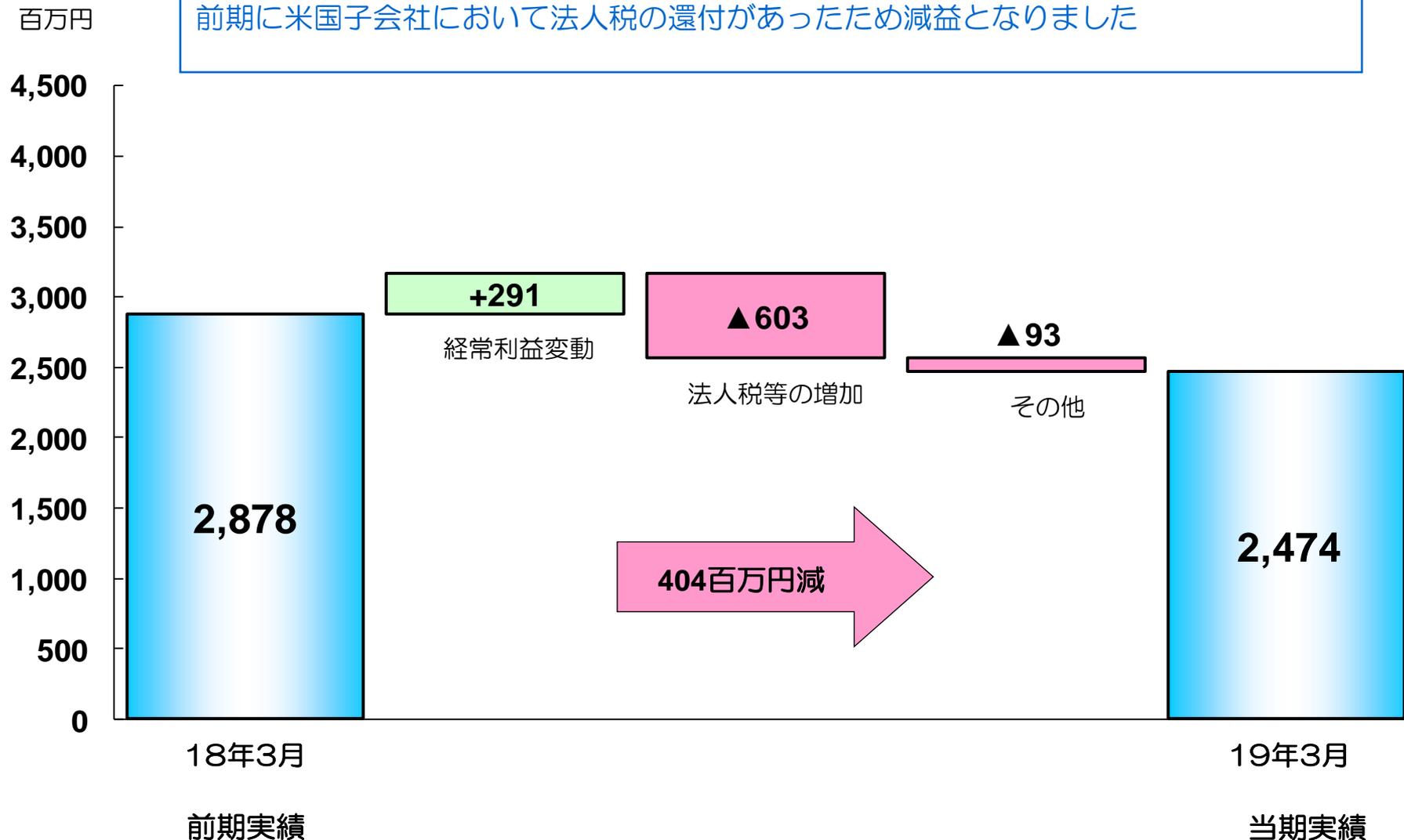
4Q実績 前年同期比変動要因：経常利益



4Q実績 前年同期比変動要因：当期純利益

POINT

前期に米国子会社において法人税の還付があったため減益となりました

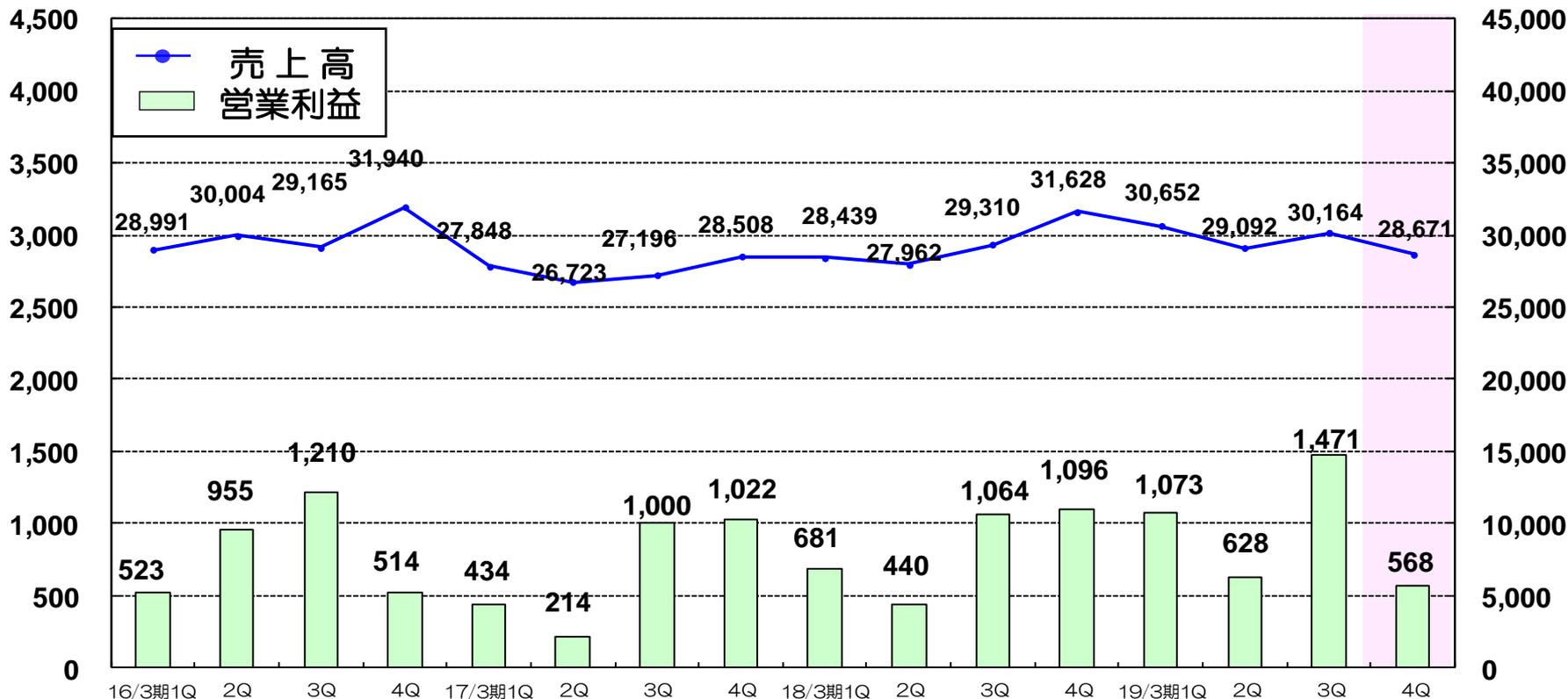


■ 連結売上高・営業利益の推移

営業利益

単位：百万円

売上高



POINT

国内における一部得意先の生産調整および中国における生産減少により3Q比で減収減益となりました。

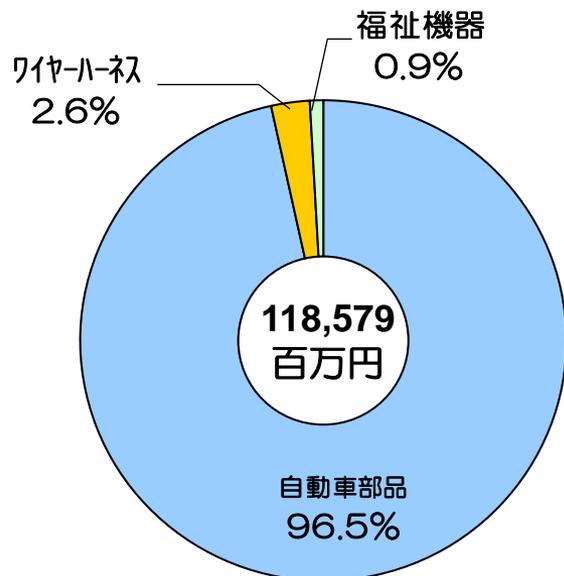
事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

百万円		自動車部品 関連事業	ワイハー社 関連事業	福祉機器 関連事業	連結
外部売上高	19/3期	114,489	3,037	1,052	118,579
	18/3期	113,765	2,502	1,070	117,339
	増減額	724	535	▲ 18	1,240
営業利益	19/3期	3,700	66	▲ 39	3,740
	18/3期	3,440	▲ 152	▲ 20	3,281
	増減額	260	218	▲ 19	459

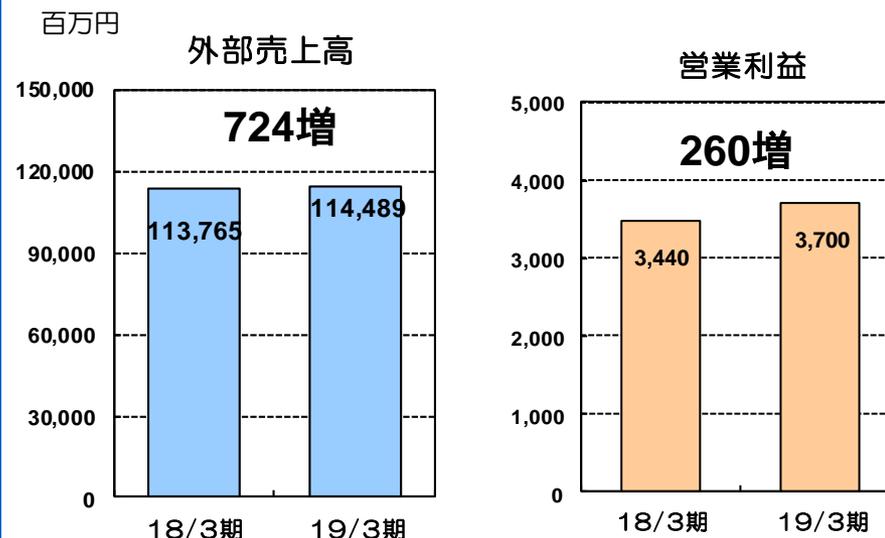
POINT

主要事業である自動車部品関連事業において、北米で受注車種の販売低迷による減産がありました。国内、中国などで増産となり、増収増益となりました。

事業の種類別売上高構成



自動車部品関連事業



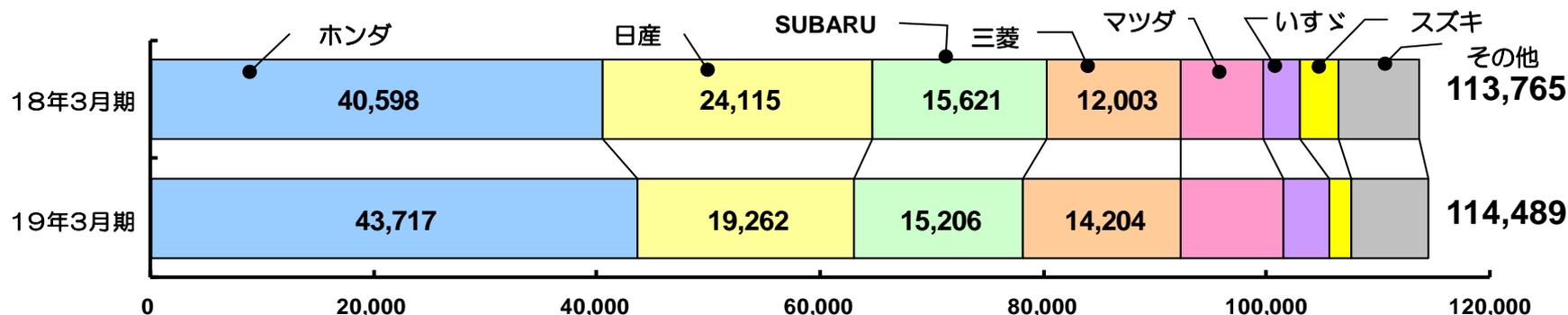
事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

得意先系列別 売上高構成

百万円	前期		当期		増減	
		構成比		構成比	額	率
本田技研工業(株)	40,598	35.7%	43,717	38.2%	3,119	7.7%
日産自動車(株)	24,115	21.2%	19,262	16.8%	▲ 4,853	▲ 20.1%
(株)SUBARU	15,621	13.7%	15,206	13.3%	▲ 415	▲ 2.7%
三菱自動車工業(株)	12,003	10.6%	14,204	12.4%	2,201	18.3%
マツダ(株)	7,294	6.4%	9,130	8.0%	1,836	25.2%
いすゞ自動車(株)	3,447	3.0%	4,091	3.6%	644	18.7%
スズキ(株)	3,408	3.0%	2,072	1.8%	▲ 1,336	▲ 39.2%
ダイハツ工業(株)	768	0.7%	772	0.7%	4	0.5%
トヨタ自動車(株)	641	0.6%	647	0.6%	6	0.9%
日野自動車(株)	371	0.3%	389	0.3%	18	4.9%
ヤマハ発動機(株)	101	0.1%	101	0.1%	0	0.0%
その他	5,398	4.7%	4,898	4.2%	▲ 500	▲ 9.3%
計	113,765	100.0%	114,489	100.0%	724	0.6%

POINT

- ホンダ系列向け
 - ・国内、アジアにおける生産増加
- 日産系列向け
 - ・北米、国内における生産減少
- SUBARU系列向け
 - ・国内における生産減少
- 三菱系列向け
 - ・国内、アジアにおける生産増加
- マツダ系列向け
 - ・国内、アジアにおける生産増加



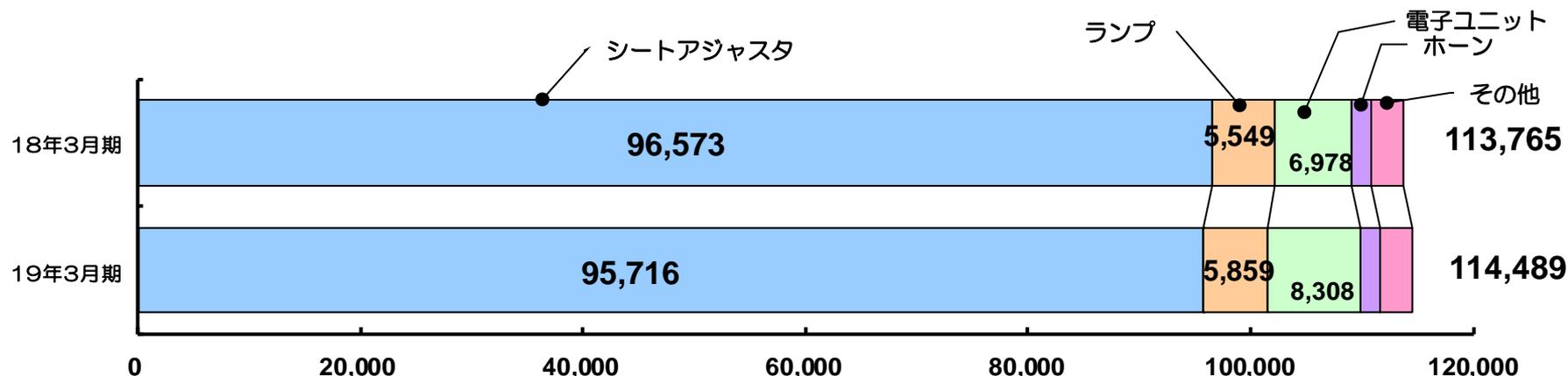
本資料の内容に関する一切の権利は(株)今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

■機種別 売上高構成

百万円	前期		当期		増減	
		構成比		構成比	額	率
(1)機構部品	96,573	84.9%	95,716	83.6%	▲ 857	▲ 0.9%
シートアジャスタ	96,573	84.9%	95,716	83.6%	▲ 857	▲ 0.9%
(2)電装部品	14,216	12.5%	15,935	13.9%	1,719	12.1%
ランプ	5,549	4.9%	5,859	5.1%	310	5.6%
電子ユニット	6,978	6.1%	8,308	7.3%	1,330	19.1%
ホーン	1,689	1.5%	1,768	1.5%	79	4.7%
(3)その他	2,976	2.6%	2,838	2.5%	▲ 138	▲ 4.6%
合計	113,765	100.0%	114,489	100.0%	724	0.6%

POINT

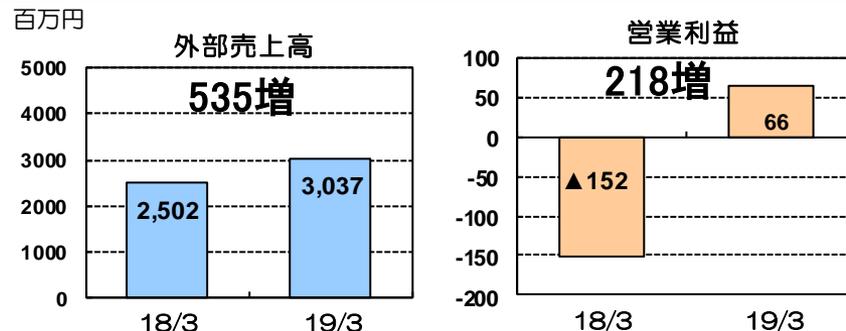
- 主力製品であるシートアジャスタは北米の減産もあり減少しました
- ランプは国内での生産が増加しました
- 電子ユニットは国内、アジアでの生産が増加しました



■ワイヤーハーネス関連事業

POINT

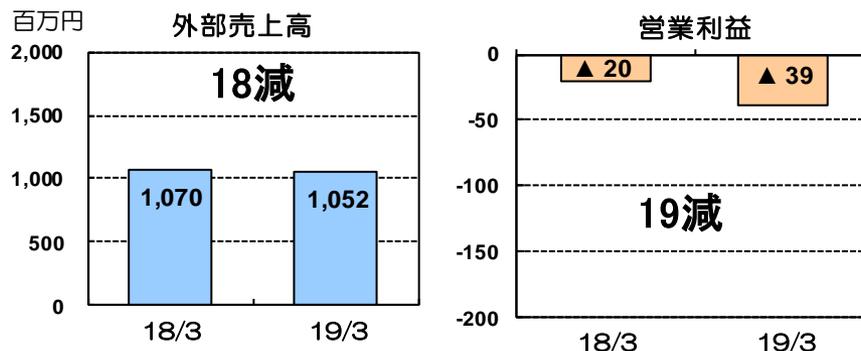
航空機関連、工作機械関連のいずれも受注増加により増収、利益回復となりました



■福祉機器関連事業

POINT

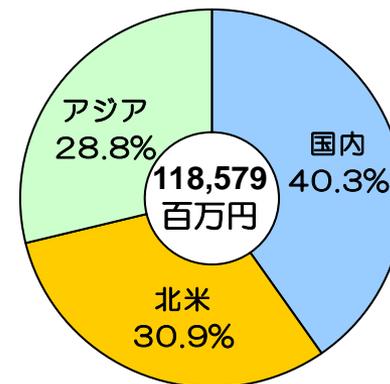
電動車いすの販売台数の減少影響と、新製品等の販促活動費用や開発費用などがあり減収減益となりました



■所在地別売上高構成

百万円		国内	北米	アジア	連結
外部売上高	19/3期	47,763	36,677	34,138	118,579
	18/3期	44,899	39,321	33,118	117,339
	増減額	2,864	▲ 2,644	1,020	1,240
営業利益	19/3期	1,324	▲ 311	2,689	3,740
	18/3期	1,129	▲ 788	2,924	3,281
	増減額	195	477	▲ 235	459

所在地別 外部売上高



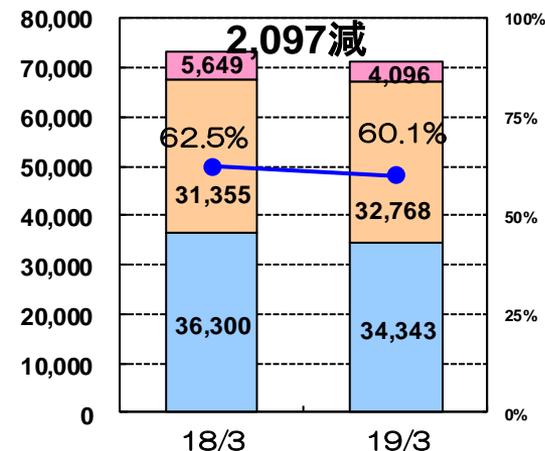
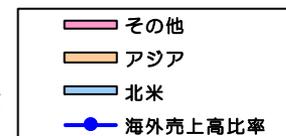
■国別売上高

百万円	国内	北米	アジア	その他	連結
19/3期	47,371	34,343	32,768	4,096	118,579
18/3期	44,033	36,300	31,355	5,649	117,339
増減額	3,338	▲ 1,957	1,413	▲ 1,553	1,240

※国別売上高とは顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています

百万円

海外売上高



POINT

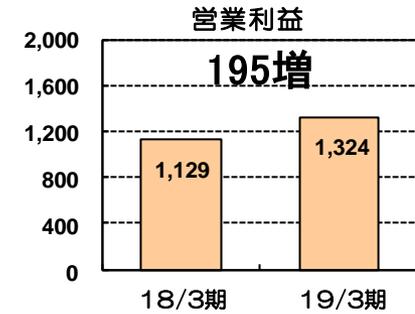
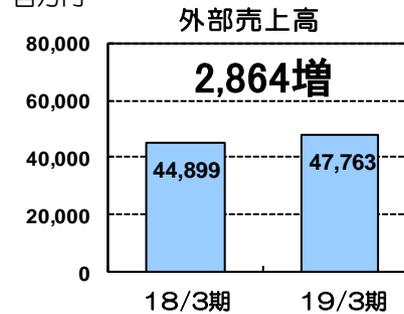
国内は増収増益、北米は減収増益、アジアは増収減益となりました。また海外売上高比率は北米の減少もあり、2.4ポイント減の60.1%となりました

国内

POINT

ホンダ、三菱、マツダ向け生産増加により増収増益となりました

百万円

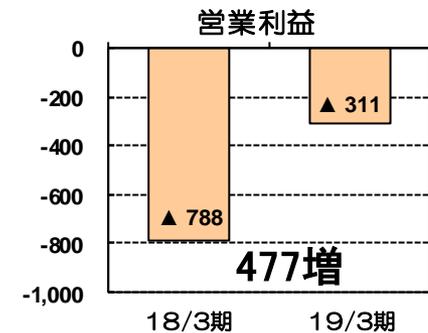


北米

POINT

改善活動効果などにより利益回復となりました

百万円

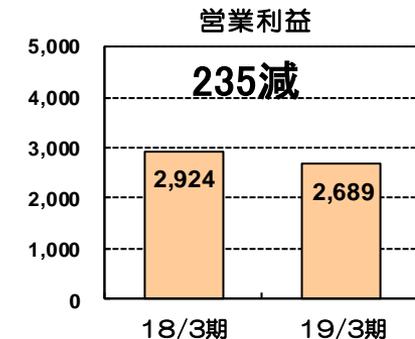
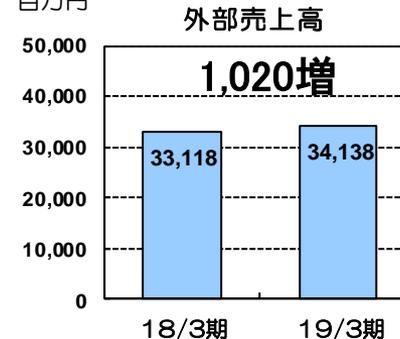


アジア

POINT

中国、タイにおける生産増加により増収となったものの、その他の拠点の生産減少により減益となりました

百万円



■ 設備投資

POINT

国内およびタイは新規立上り・増産対応により増加しました

百万円



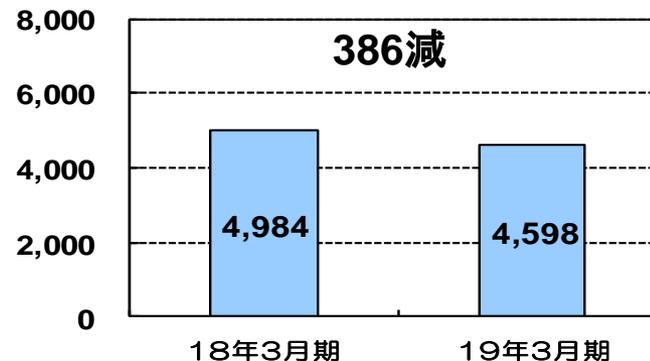
	18年3月期 (実績)	19年3月期 (実績)	前期比増減
国内	2,425	2,797	372
北米	312	402	90
メキシコ	62	23	▲ 39
中国	618	348	▲ 270
タイ	48	679	631
フィリピン	64	373	309
台湾	11	27	16
インド	137	29	▲ 108
インドネシア	0	0	0
合計	3,677	4,681	1,004

■ 減価償却費

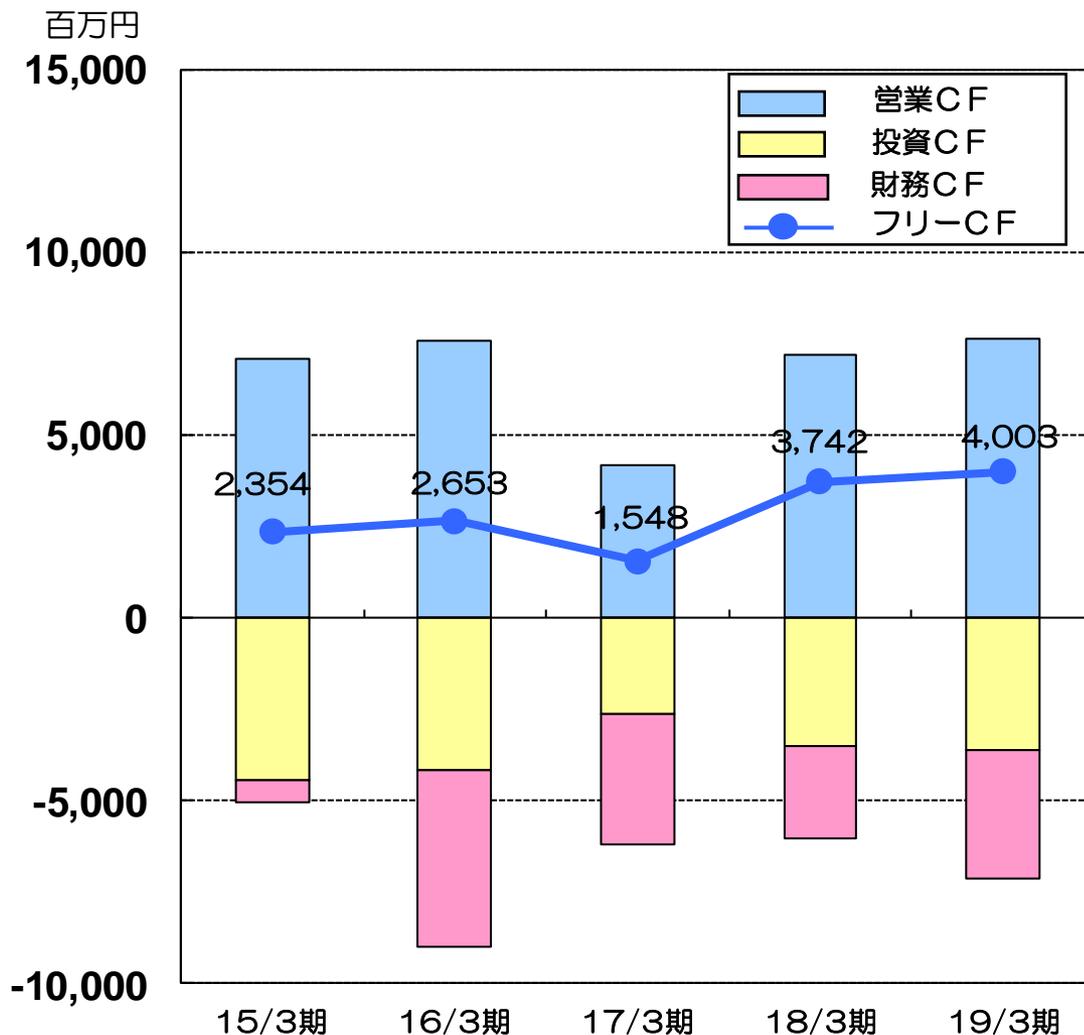
POINT

北米における減価償却費は減少しております

百万円



	18年3月期 (実績)	19年3月期 (実績)	前期比増減
日本	2,463	2,536	73
北米	1,244	870	▲ 374
メキシコ	133	130	▲ 3
中国	564	489	▲ 75
タイ	431	435	4
フィリピン	68	50	▲ 18
台湾	18	19	1
インド	49	57	8
インドネシア	14	9	▲ 5
合計	4,984	4,598	▲ 386



POINT

■ 営業CFは、利益の増加などにより、増加しました

■ 投資CFは有形固定資産の取得により、増加しました

■ 財務CFはリース債務の返済により、増加しました

■ フリーCFは4,003百万円となりました

Ⅱ. 20年3月期 業績見通し概要

百万円	前期実績 (19年3月期)	当期予想 (20年3月期)	増減	
			増減額	増減率
売上高	118,579	112,000	▲ 6,579	▲ 5.5%
営業利益	3,740	4,600	860	23.0%
経常利益	3,691	4,500	809	21.9%
当期純利益	2,474	3,200	726	29.3%
1株当たり純利益	118.98円	153.89円	34.91円	29.3%

POINT

海外における生産減少があるものの、立上りロスの抑制、原価低減活動、電子事業の量産効果により、減収増益を予想しております

ご参考

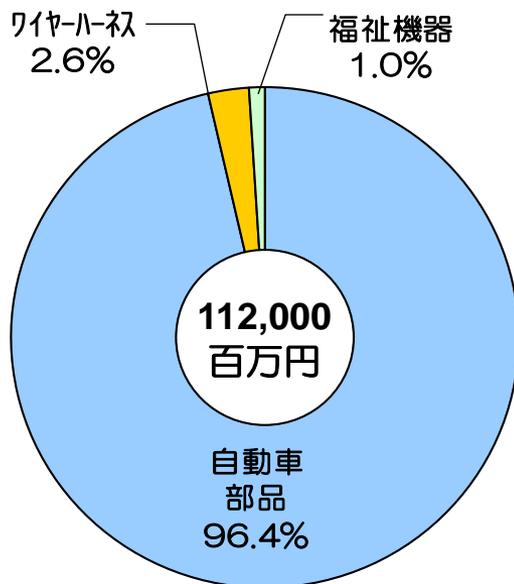
USD	20/3期	110.00円	19/3期	110.44円	0.44円の円高
CNY	20/3期	16.40円	19/3期	16.71円	0.31円の円高
THB	20/3期	3.50円	19/3期	3.42円	0.08円の円安

百万円		自動車部品 関連事業	ワイヤーハ 関連事業	福祉機器 関連事業	連結
外部売上高	20/3期	108,030	2,890	1,080	112,000
	19/3期	114,489	3,037	1,052	118,579
	増減額	▲ 6,459	▲ 147	28	▲ 6,579
営業利益	20/3期	4,540	20	30	4,600
	19/3期	3,700	66	▲ 39	3,740
	増減額	840	▲ 46	69	860

POINT

自動車部品関連事業において国内の生産増加および海外含めた原価改善により減収増益を予想しております

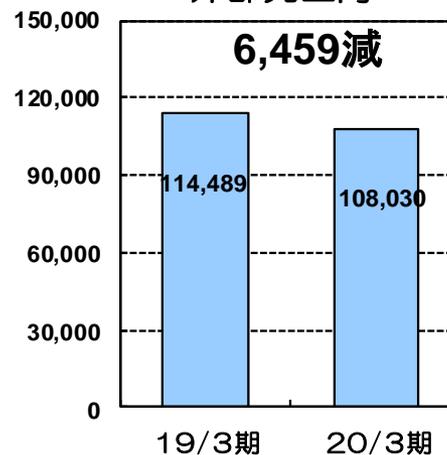
事業の種類別 売上高構成



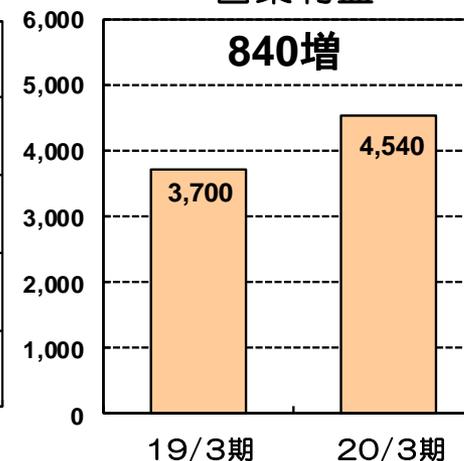
自動車部品関連事業

百万円

外部売上高



営業利益

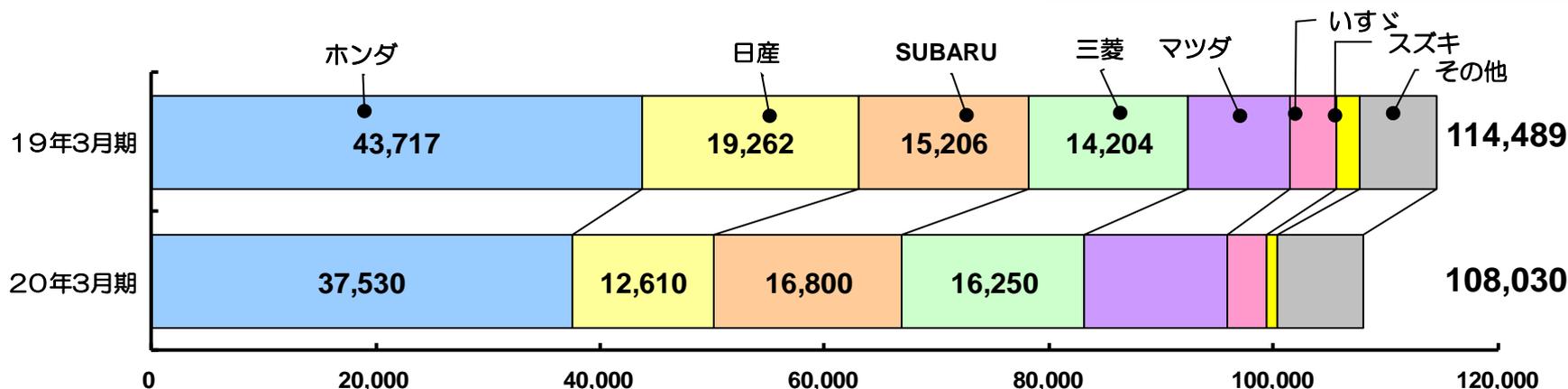


得意先系列別 売上高構成

百万円	前期		当期 (予想)		増減	
		構成比		構成比	額	率
本田技研工業(株)	43,717	38.2%	37,530	34.7%	▲ 6,187	▲ 14.2%
日産自動車(株)	19,262	16.8%	12,610	11.7%	▲ 6,652	▲ 34.5%
(株)SUBARU	15,206	13.3%	16,800	15.6%	1,594	10.5%
三菱自動車工業(株)	14,204	12.4%	16,250	15.0%	2,046	14.4%
マツダ(株)	9,130	8.0%	12,680	11.7%	3,550	38.9%
いすゞ自動車(株)	4,091	3.6%	3,470	3.2%	▲ 621	▲ 15.2%
スズキ(株)	2,072	1.8%	1,100	1.0%	▲ 972	▲ 46.9%
ダイハツ工業(株)	772	0.7%	720	0.7%	▲ 52	▲ 6.7%
トヨタ自動車(株)	647	0.6%	750	0.7%	103	15.9%
日野自動車(株)	389	0.3%	390	0.4%	1	0.3%
ヤマハ発動機(株)	101	0.1%	170	0.2%	69	68.3%
その他	4,898	4.2%	5,560	5.1%	662	13.5%
計	114,489	100.0%	108,030	100.0%	▲ 6,459	▲ 5.6%

POINT

- ホンダ系列向け
 - ・国内、北米、タイにおける生産減少
- 日産系列向け
 - ・北米、中国における生産減少
- SUBARU系列向け
 - ・北米における生産増加
- マツダ系列向け
 - ・国内、タイにおける生産増加
- スズキ系列向け
 - ・アジアにおける生産減少



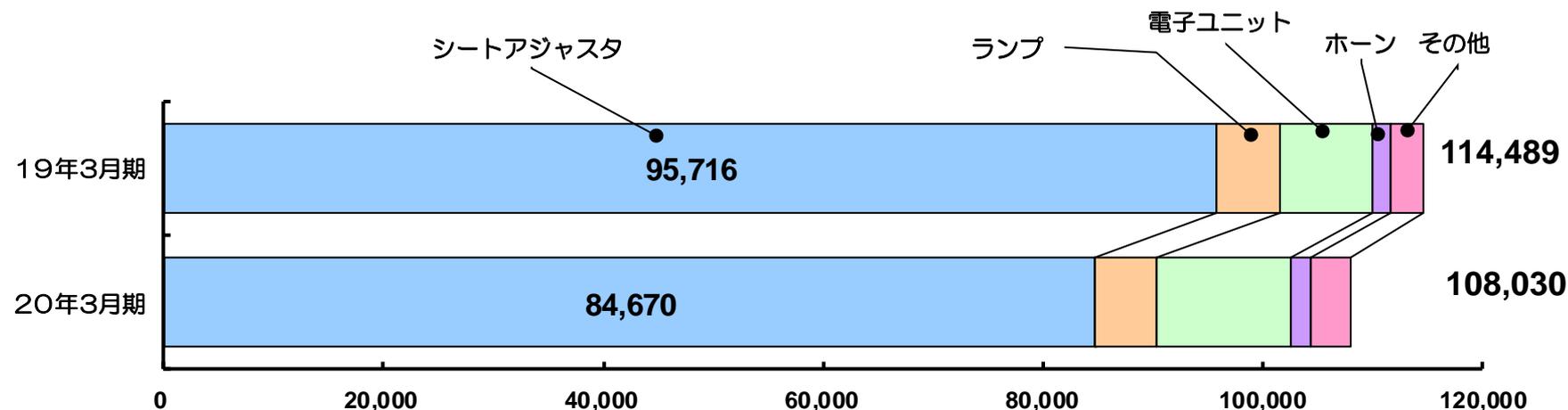
本資料の内容に関する一切の権利は(株)今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載をご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

■機種別 売上高構成

百万円	前期		当期 (予想)		増減	
		構成比		構成比	額	率
(1)機構部品	95,716	83.6%	84,670	78.4%	▲ 11,046	▲ 11.5%
シートアジャスタ	95,716	83.6%	84,670	78.4%	▲ 11,046	▲ 11.5%
(2)電装部品	15,935	13.9%	19,680	18.2%	3,745	23.5%
ランプ	5,859	5.1%	5,710	5.3%	▲ 149	▲ 2.5%
電子ユニット	8,308	7.3%	12,070	11.2%	3,762	45.3%
ホーン	1,768	1.5%	1,900	1.8%	132	7.5%
(3)その他	2,838	2.5%	3,680	3.4%	842	29.7%
合計	114,489	100.0%	108,030	100.0%	▲ 6,459	▲ 5.6%

POINT

- シートアジャスタは海外での生産が減少する見込み
- 電子ユニットは国内、アジアでの生産が増加する見込み

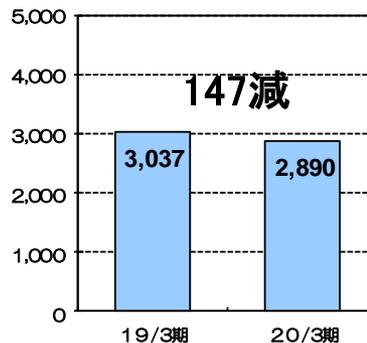


■ワイヤーハーネス関連事業

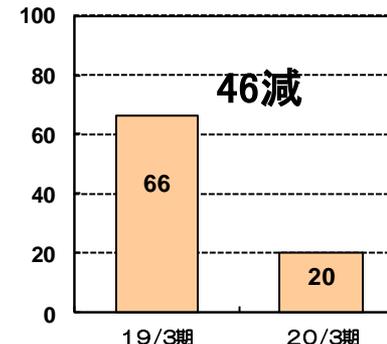
POINT

航空機関連、工作機械関連のいずれも受注減少による減収減益を予想しております

百万円 外部売上高



営業利益

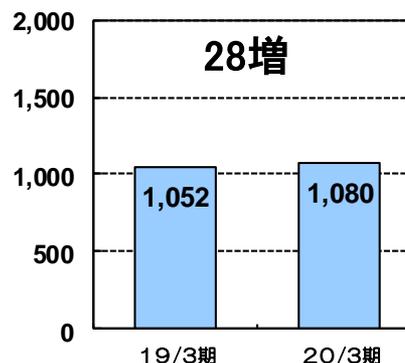


■福祉機器関連事業

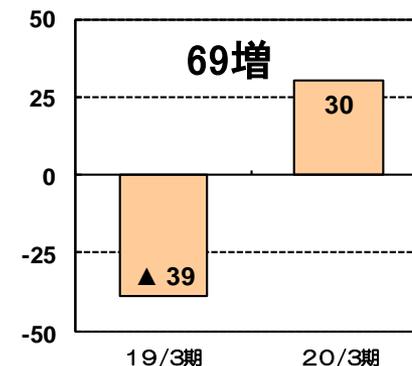
POINT

売上が前期並みとなりますが、原価低減活動による黒字化を予想しております

百万円 外部売上高



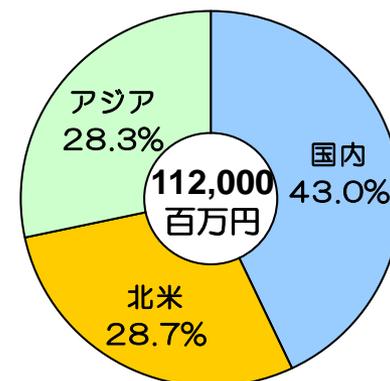
営業利益



■所在地別売上高構成

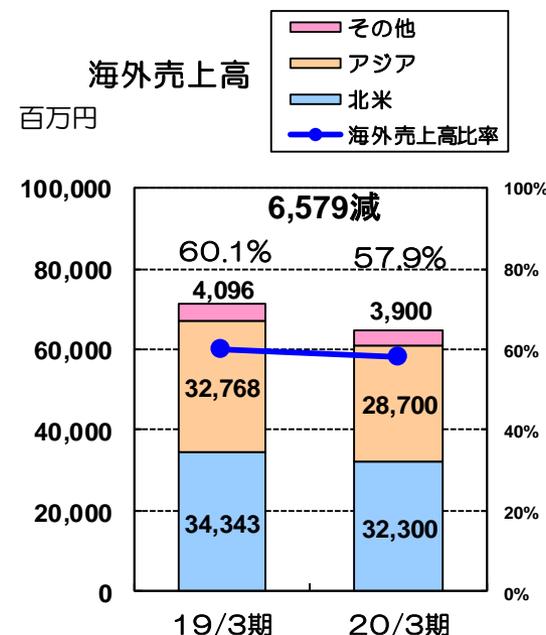
百万円		国内	北米	アジア	連結
外部売上高	20/3期	48,120	32,160	31,720	112,000
	19/3期	47,763	36,677	34,138	118,579
	増減額	357	▲ 4,517	▲ 2,418	▲ 6,579
営業利益	20/3期	1,640	40	3,120	4,600
	19/3期	1,324	▲ 311	2,689	3,740
	増減額	316	351	431	860

所在地別 外部売上高



■国別売上高

百万円	国内	北米	アジア	その他	連結
20/3期	47,100	32,300	28,700	3,900	112,000
19/3期	47,371	34,343	32,768	4,096	118,579
増減額	▲ 271	▲ 2,043	▲ 4,068	▲ 196	▲ 6,579



POINT

- 売上高の所在地別割合は北米、アジアが減少し国内が増加と予想
- 海外売上高比率は国内、アジアが売上増加し北米が減少と予想

国内

POINT

生産増加影響および電子ユニットの新規立上り効果により増収増益を見込んでおります



北米

POINT

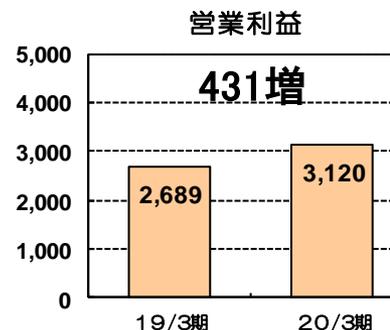
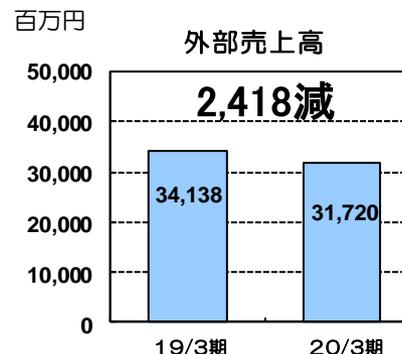
生産減少が影響し減収となりますが原価低減活動により利益の回復を見込んでおります



アジア

POINT

タイ以外の中国、インド、フィリピン、インドネシアの生産減少により減収となりますが、原価低減活動により増益を見込んでおります



■ 設備投資

POINT

新規立上り対応の投資を見込んで
おります

百万円



	19年3月期 (実績)	20年3月期 (予想)	前期比増減
日本	2,797	2,450	▲ 347
北米	402	282	▲ 120
メキシコ	23	135	112
中国	348	778	430
タイ	679	1,038	359
フィリピン	373	71	▲ 302
台湾	27	31	4
インド	29	116	87
インドネシア	0	0	0
合計	4,681	4,900	219

■ 減価償却費

POINT

新規投資増加により減価償却費の増
加を見込んでおります

百万円



	19年3月期 (実績)	20年3月期 (予想)	前期比増減
日本	2,536	2,657	121
北米	870	890	20
メキシコ	130	132	2
中国	489	469	▲ 20
タイ	435	383	▲ 52
フィリピン	50	60	10
台湾	19	33	14
インド	57	75	18
インドネシア	9	2	▲ 7
合計	4,598	4,700	102

Ⅲ. 今後の経営方針

① フェーズ3 重点展開方針

Dream 2020

3年単位の中期ステップにて展開

【フェーズ1】
2014年度実績
連結売上高 1,119億円
営業利益率 2.9%

【フェーズ2】
2017年度実績
営業利益率 2.8%

【フェーズ3】
2020年度目標
営業利益率 6.0%

環境・安全
新製品

シートアジャスタ
世界トップ

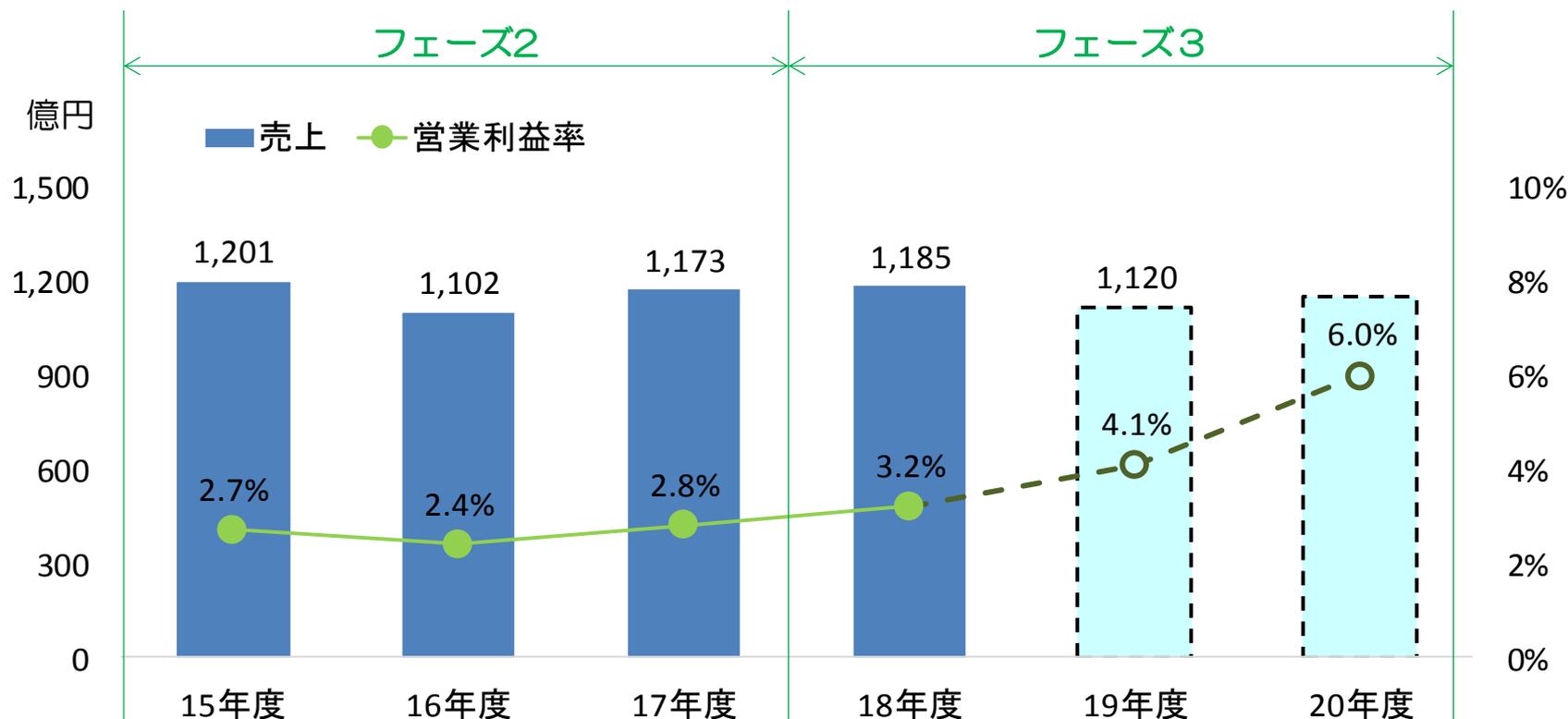
非自動車

フェーズ1(2012~2014 年度)	フェーズ2(2015~2017 年度)
①研究開発の強化	①技術革新
②人材育成とグローバル活用	②国内事業の再構築
③グローバルでの事業拡大	③グローバル拠点最適化
④国内事業の再編	④人材育成
⑤非自動車領域の事業開発	
⑥グローバルマネジメント確立	

フェーズ3(2018~2020 年度)

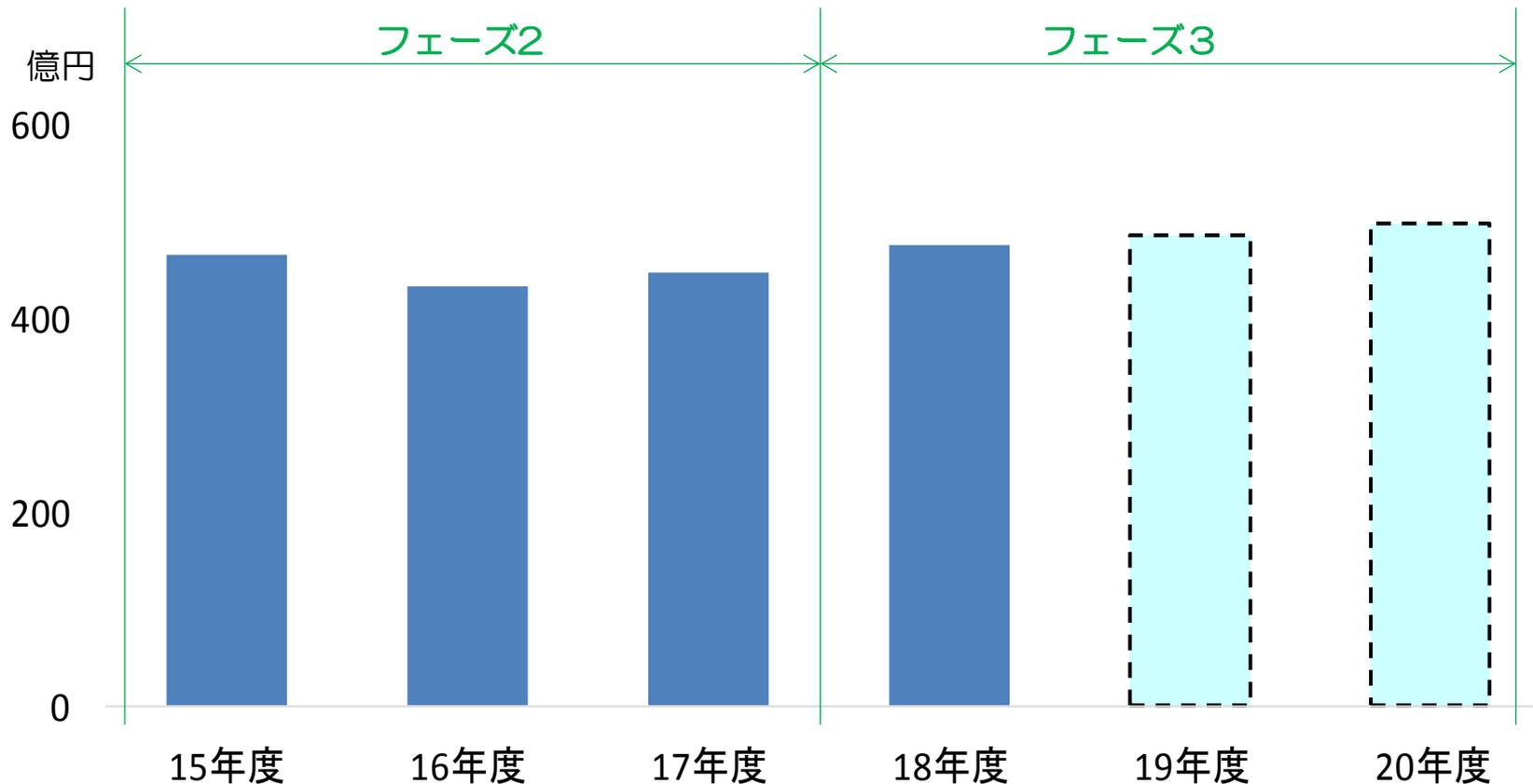
- ①技術革新
今仙グループの総力を結集させイノベーションを推進する【技術、造り、品質、管理】
- ②国内事業の再構築
今後拡大が見込めない国内市場において事業、生産拠点をあるべき姿に再構築する【新規事業、生産拠点再編】
- ③グローバル拠点最適化
グローバル拠点の競争力およびネットワークの強化を推進する
- ④人材育成
グローバルでの人材育成を加速させ強化する
- ⑤事業の選択と集中
リソースの適正配分により事業全体での収益体質強化を図る

② Dream2020 売上・営業利益推移



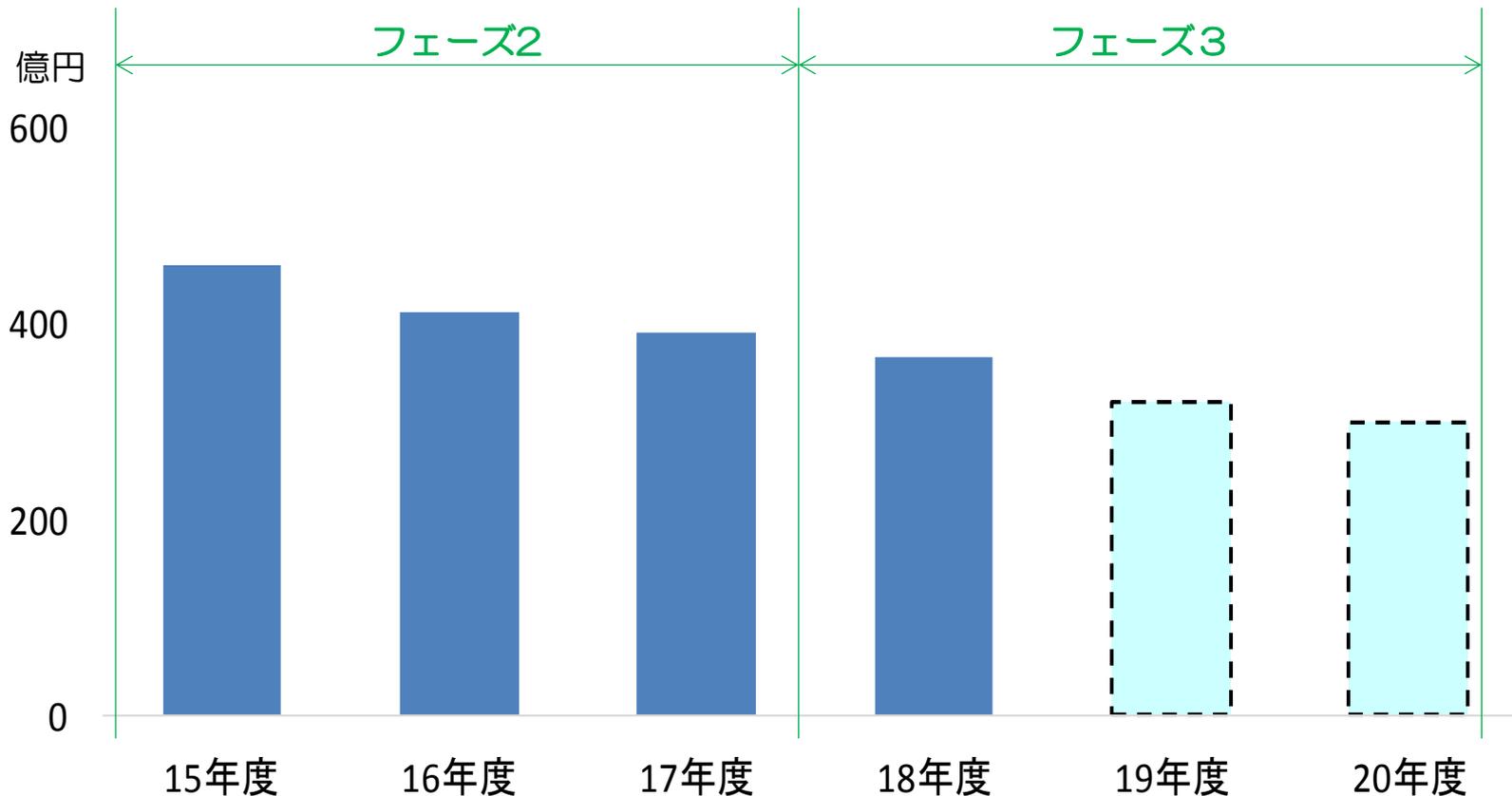
**16年度以降収益改善傾向となり、
20年度 営業利益率6%に向けて推進**

③ 売上高の推移 <国内事業>



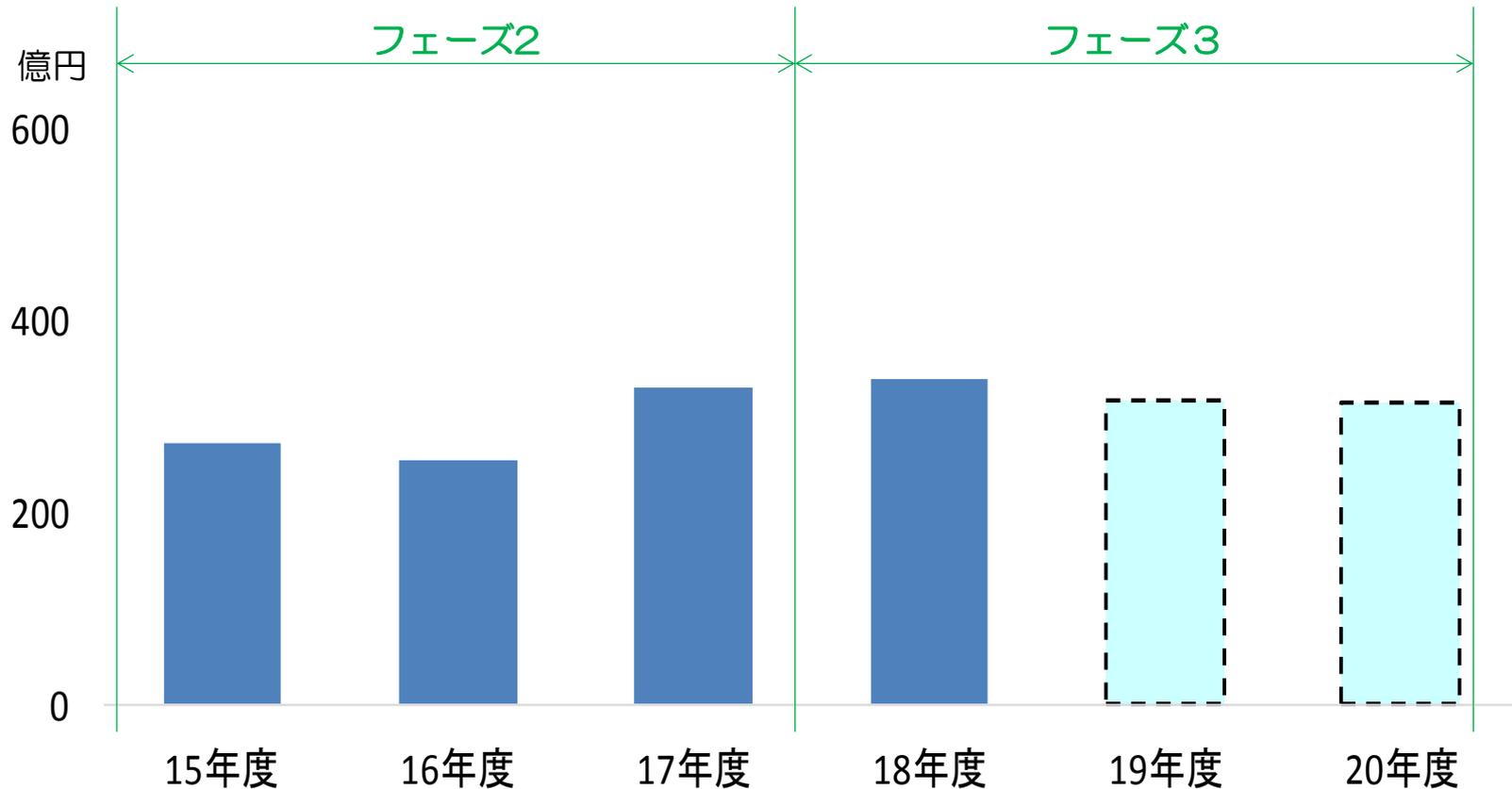
フェーズ3以降も引き続きほぼ横ばいで推移

④ 売上高の推移 <北米事業>



フェーズ2から減少傾向が続く

⑤ 売上高の推移 <アジア事業>



フェーズ3以降はほぼ横ばいで推移

<フェーズ3 重点展開方針>

技術革新

国内事業の再構築

グローバル拠点の最適化

人材育成

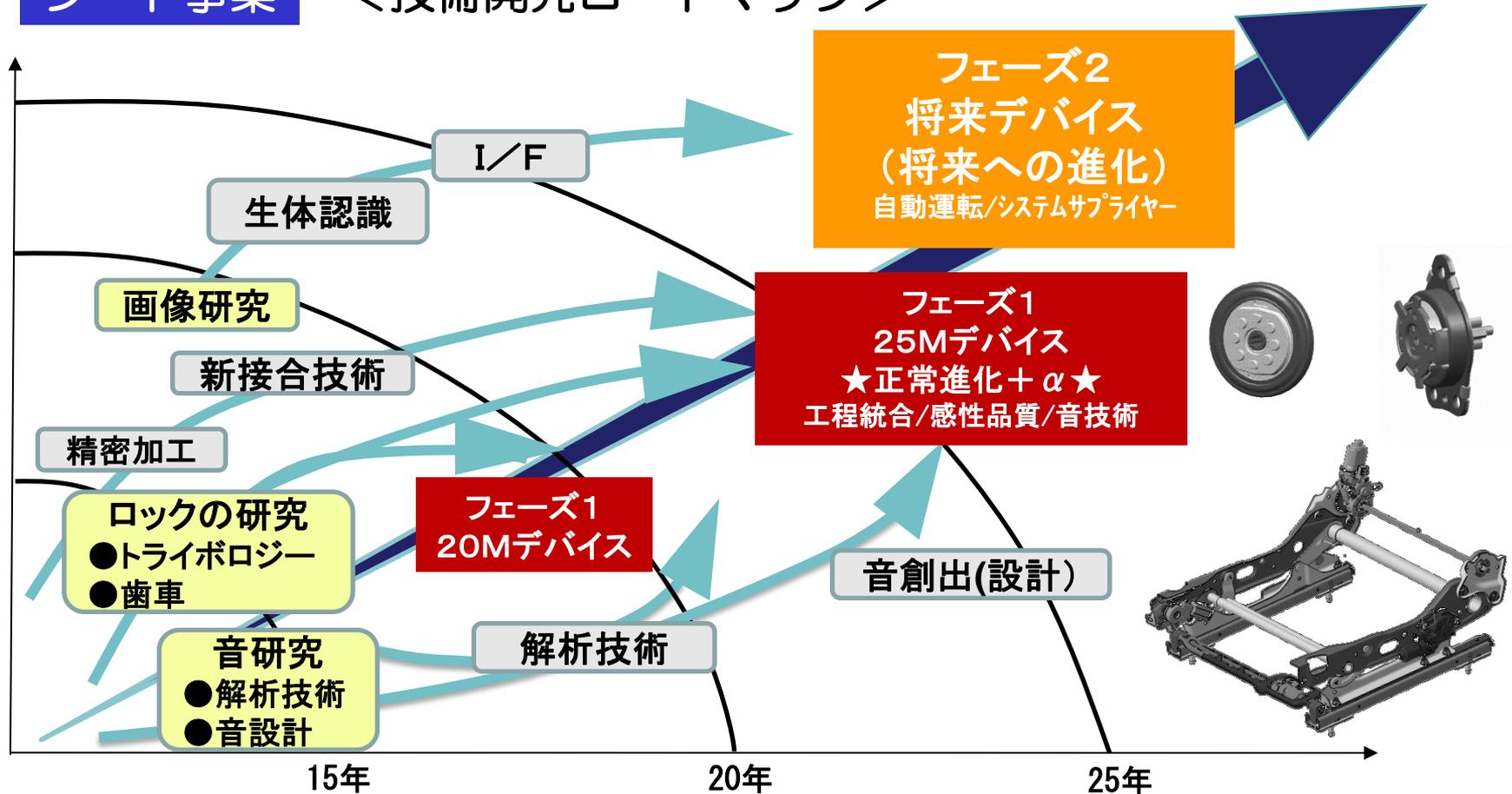
事業の選択と集中

<重点展開方針からの取り組み内容>

- 新たな生産ラインの構築
ロボット活用による自動化
- ランプ製品の生産体制構築
大型成型機を移管しランプ一貫生産
- WICO（武漢今仙）第二工場
中国地域の工程系列見直し、プレス導入
- ダイバーシティの取り組み
女性幹部候補生の育成
- 将来成長に資する製品・事業に集中するべく
既存製品・事業検討、柔軟なM&A検討

シート事業

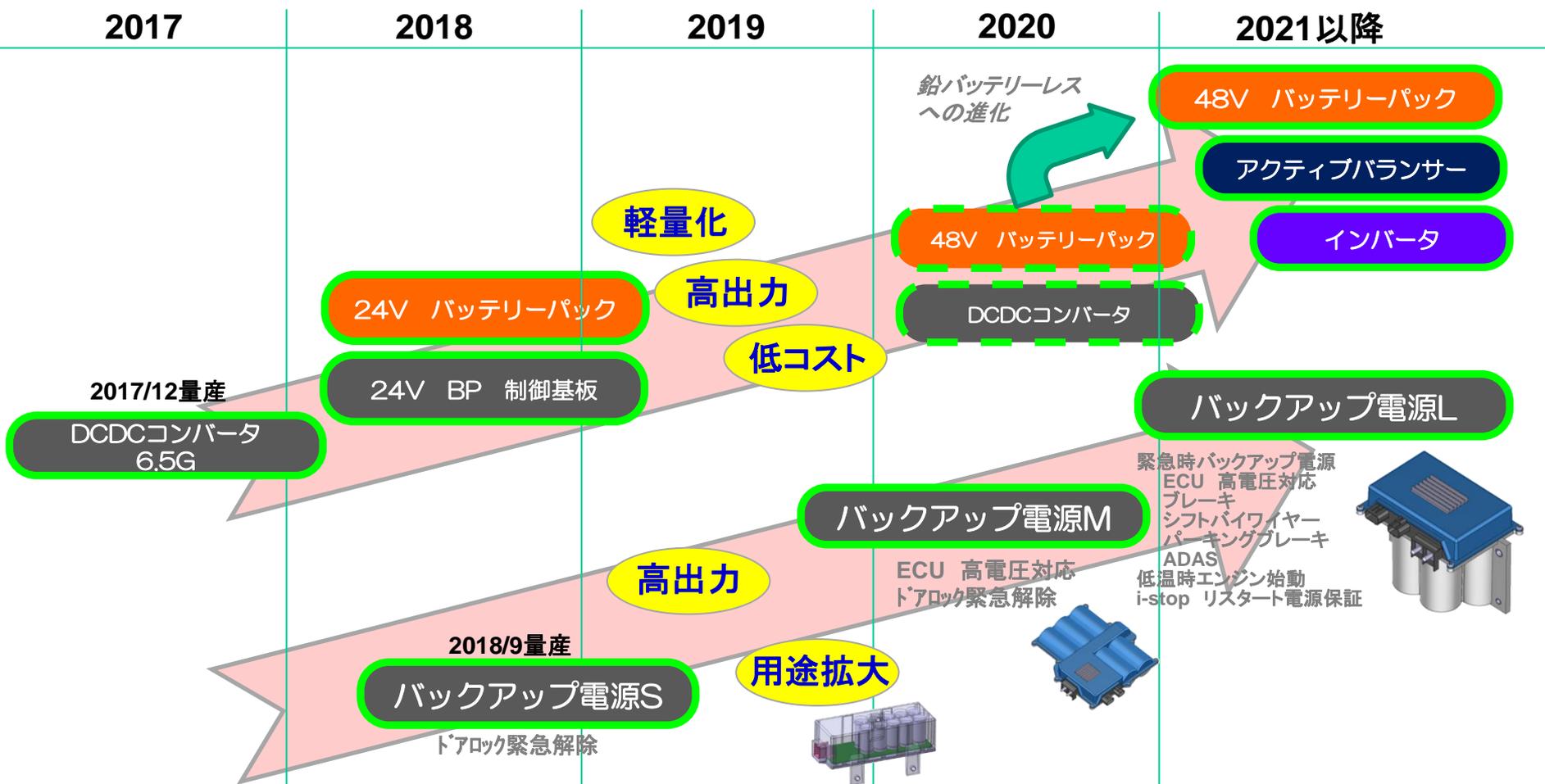
<技術開発ロードマップ>



- 技術を融合し、製品価値を高め、今仙ブランドを構築する
- 客先のニーズに基づいたロードマップを再策定

電子事業

<技術開発ロードマップ>



パワーエレクトロニクス分野への参画強化

電子事業

新規立上げ製品（18年度）

生産国	製品		
日本	メモリーパワーシートユニット 		
タイ	リアESU 	ダッシュESU 	バックアップ電源 
メキシコ	リアESU 	ダッシュESU 	

海外においても、電子事業の新製品を順次立ち上げ

電子事業

＜新製品紹介＞

【バックアップ電源】

【機能】

瞬時にバッテリーダウンを判断してキャパシタに蓄えていた電気の供給を開始する制御



予期せぬバッテリーの故障、電源ダウン



バックアップ
システム作動

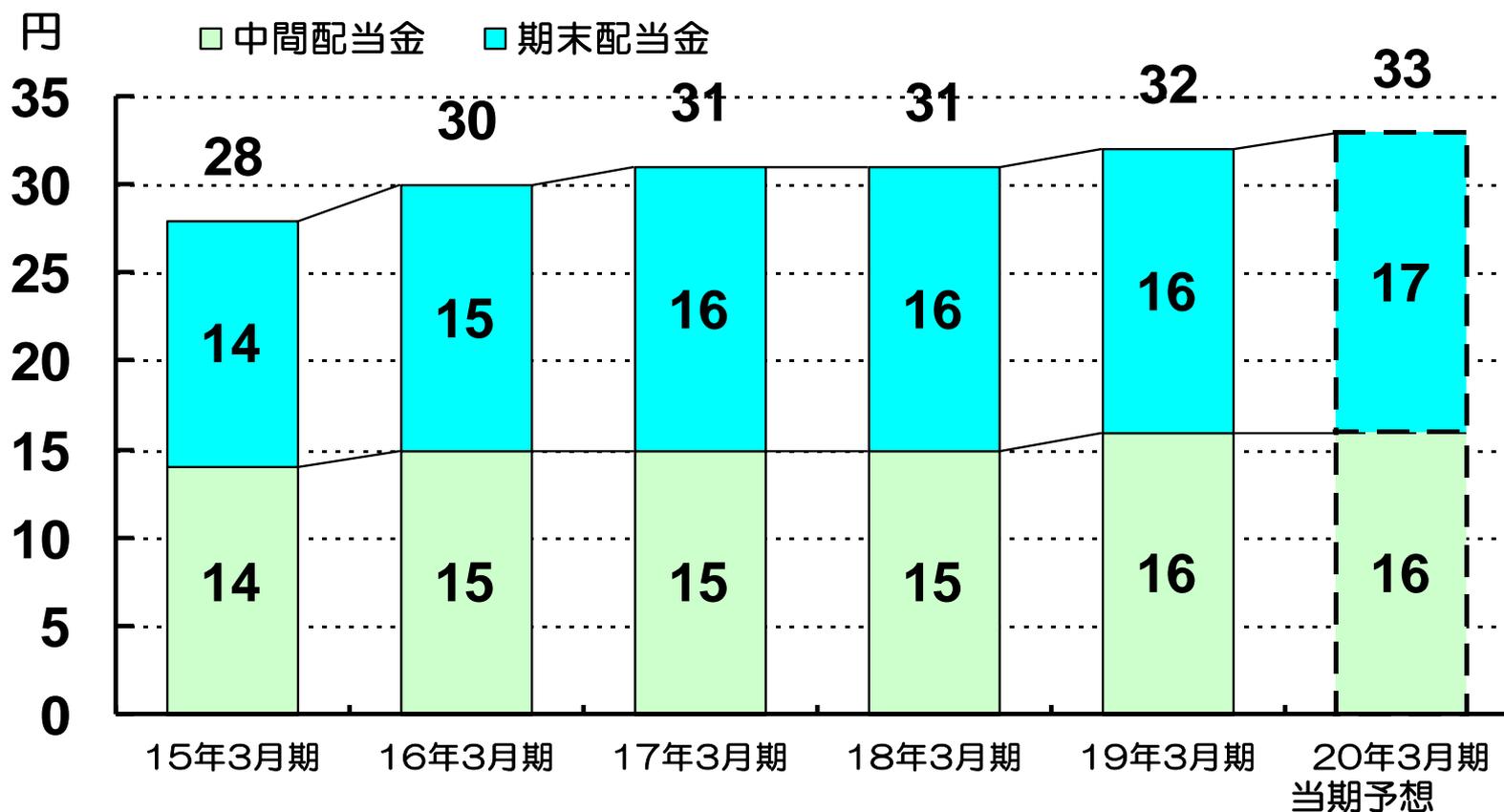
- 衝突時ドアロック解除電源供給
- 小型軽量
- 電気二重層コンデンサ採用



EV・自動運転車両を見据え、新製品を投入

POINT

前期より1円増配を予定しております

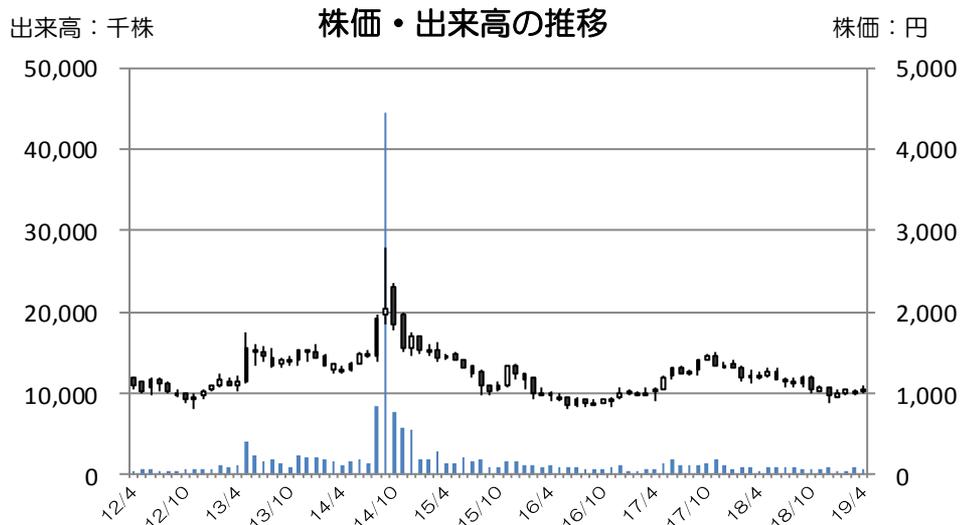


今後のスケジュール

6/18 (火)	株主総会 (IMASENグローバル開発・研修センター)
7/19 (金)・20 (土)	名証IRエキスポ (名古屋・吹上ホール)
8/8 (木)	20年3月期第1四半期決算発表予定

※そのほか、今仙グループの最新情報をWEBにて配信しております

<http://www.imasen.co.jp>



IRに関するお問い合わせ先

株式会社今仙電機製作所
グローバル経営事業部 経営企画課
IR担当

TEL 0568-67-1517

<http://www.imasen.co.jp/ir.html>